

## 【22\_211思考系メルマガ】なぜ『ちゃんと運用するトレード』をできる人が少ないのか

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

「夏枯れ相場」などとはよく言ったもので、確かにこの時期はスイング一泣かせな時期で

当時の僕は割とトレード自体手控えていたものですが

現在は『短期デイトレ』に軸足を移しているのので、こんな時期でも割とチャンス把握しやすいです。

この辺も、一貫性を重視するデイトレには分がある所と言えますね。

さて、今回のテーマですが

いつもメルマガを読んでくれる方からDMで頂いた質問をテーマにしました。

質問者の方からは

『射幸心』(偶然の利益を労せず得ようとする欲)が良くないのではないかと

と考察されているのですが、僕は少し違った考えを持っています。

というのも、『射幸心』というのは「労せず益を得ようとする」という点がポイントで

どちらかというとFX・トレードで利益を取ろうとしている人の多くは

少なくともそのために必要な努力(手法を覚え、身につけようとしたり)はしているはずなんですよね。

しかしながら、なかなか思うような結果を得られないでいる人の状況をよく確認すると

“無意識に” 偶然による大きな利益を得ようとする事に頼っている 傾向があります。

僕は常々、そこから脱却するために必要な『考え方』を提示するために

このような発信を日々しているわけですが、今回もこの点を深掘りしてみようと思います。

## 「運用」と「ギャンブル」の決定的な違い

▼関連: モーニングライブのアーカイブ▼

<https://youtu.be/shj7Z8A3zGI>

一般的に、「射幸心を煽られている」状態の典型例というのは

ギャンブル的な行為全般を指すことが多いです。

FX・トレードにおいても、やり様によっては「ギャンブル」と表現せざるを得ない方法論が  
無数にTwitter上でも跋扈しています。

僕なりにこれをまとめるとするなら

「リスクサイズ(想定される損失幅)を把握せず、稼ぐ金額に注目する」ようなトレードは

「偶然性に頼った、イチかバチかのトレード」であると考えています。

これでは、偶発的に100万円位のお金が転がり込んでくることはあるかもしれませんが

中長期的に見た時に、相場で生き残れる確率は“ほぼゼロ”であると断言します。

なぜなら、相場を確率論的に考えた時、「自分に都合の良い方に確率が偏り続ける」ことは原理上あり得ないからです。

勝率100%の必勝法がトレードには存在しないと言っているように

どんなトレードをやっても全戦全勝というわけにはいかず、必ずどこかで「損切り」をすることがあるわけです。

▼参考ツイート▼

[https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1552899482844405760?s=20&t=dGBfOqrbRNZ7UN5JU4\\_7hA](https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1552899482844405760?s=20&t=dGBfOqrbRNZ7UN5JU4_7hA)

『運用』としてトレードするという事は

自分に不都合な事態(利益に繋がらない結果が生じる可能性)が起こる可能性も考え

1回1回の勝ち負けに一喜一憂するでもなく

『(何回も一貫したエントリーを繰り返した結果)トータルで勝つ仕組みの中で取り組む』事です。

自分の自信のあり・なしという曖昧な根拠で

相場環境に荷重をかけて、一貫性無くロットを変えてトレードする といったような

不確実性の高い相場に対して、自分から更に「不確実さ」を増やすトレードをすればするほど

『計画的な運用』からはかけ離れていき、「偶然性」に依存したトレードになってしまいます。

今回質問を送ってくれた方に対する僕の答えをまとめると

～～

自分のやっているトレードの“考え方”に注目したとき

無意識に「偶然性」に頼ったトレードになっていないか？

具体的には、リスクサイズを把握して、一貫した方法論に則っているのか？

～～

ここをしっかりと考える必要がある、ということです。

┌  
└─ ■ 「偶然性」に頼ることをやめるには  
└──────────────────┘

では、実際「偶然性」に頼ることから脱却して、一貫性のある『運用』に考え方を考えていくには

どうしたら良いのか？

そのために、ルールを構築するうえで以下のポイントを踏まえる『考え方』を持つことです。

- ・相場は、常に『不確実性(先がどうなるかわからない)』に支配されていること
- ・上記を踏まえたうえで、自分のトレードに『一貫性ある言語化(ルールの明確化)』をすること
- ・トレードにおけるリスクサイズ(損失幅)を正確に把握し、トータルの利回りに注目する(「稼ぎたい金額」にフォーカスしてはいけない)

一般的に言われる資金管理や、トレードの「べき論」とは真逆の提示をしているので

なかなかすぐに考えを馴染ませるのは難しいかもしれません。

ですが、この考え方を納得して実践出来た人は、徐々に自分的に『納得』の出来るトレードが出来るようになるし

それに伴って勝手に「金額」もついてきます(良い意味での結果論)。

結局のところ、『アプローチする角度を変えること』に他ならないので

焦って利を追う事(結果的な射幸心)に振り回されないように考え方を変えることで

徐々にこの悩みも解消されていくのではないのでしょうか。

こうして言葉にして整理してみると、実践するのがなかなか難しいことではありますが

1人でも多くの方が、考え方の変化によって

各々良いトレードを実践する事に繋がってくれればと思います。